

競 技 日 程

第 1 日 目 (トラック種目)					第 2 日 目 (トラック種目)				
順序	種 目	組 - 着	開始時間	招 集 時 間	順序	種 目	組 - 着	開始時間	招 集 時 間
1	男 4×100mR 予	5 (ベスト16)	9:00	1～3組 8:40～ 8:45 4～5組 8:50～ 8:55	1	女 4×100mR 予	4 (ベスト16)	9:00	1～4組 8:40～ 8:45
2	女 200m 予	7 - 3 + 11	9:25	1～4組 9:05～ 9:10 5～7組 9:20～ 9:25	2	男 1500m 予	5 - 2 + 6	9:20	1～2組 9:00～ 9:05 3～4組 9:10～ 9:15 5組 9:20～ 9:25
3	男 100m 予	12 - 2 + 8	10:00	1～6組 9:40～ 9:45 7～12組 10:00～10:05	3	女 400mH 決	4 (タイムレース)	9:55	9:35～ 9:40
4	女 800m 予	5 (ベスト16)	10:40	1～3組 10:20～10:25 4～5組 10:30～10:35	4	男 200m 予	11 - 2 + 10	10:15	1～6組 9:55～ 10:00 7～11組 10:15～ 10:20
5	男 800m 予	9 (ベスト16)	11:05	1～3組 10:45～10:50 4～6組 11:00～11:05 7～9組 11:15～11:20	5	女 100m 予	9 - 3 + 5	10:50	1～5組 10:30～ 10:35 6～9組 10:45～ 10:50
6	男 400m 予	10 (ベスト16)	11:50	1～4組 11:30～11:35 5～7組 11:45～11:50 8～10組 12:00～12:05	6	男 400mH 予	6 (ベスト16)	11:20	1～3組 11:00～ 11:05 4～6組 11:15～ 11:20
7	女 100mH 予	5 (ベスト16)	12:35	12:15～12:20	7	女 400m 予	6 (ベスト16)	11:45	1～3組 11:25～ 11:30 4～6組 11:40～ 11:45
8	男 110mH 予	5 (ベスト16)	12:55	12:35～12:40	8	男 200m 準	4 - 4	12:15	11:55～ 12:00
9	女 200m 準	4 - 4	13:15	12:55～13:00	9	女 100m 準	4 - 4	12:35	12:15～ 12:20
10	男 100m 準	4 - 4	13:35	13:15～13:20	10	男女 5000mW 決	1組	12:50	12:30～ 12:35
11	女 3000m 決	1組	13:55	13:35～13:40	11	男 1500m 決	1組	13:35	13:15～ 13:20
12	女 100mH 決	2組(A・B)	14:15	13:55～14:00	12	女 1500m 決	2 (タイムレース)	13:45	13:25～ 13:30
13	男 110mH 決	2組(A・B)	14:30	14:10～14:15	13	男 400mH 決	2組(A・B)	14:10	13:50～ 13:55
14	女 200m 決	2組(A・B)	14:40	14:20～14:25	14	男 200m 決	2組(A・B)	14:20	14:00～ 14:05
15	男 100m 決	2組(A・B)	14:50	14:30～14:35	15	女 100m 決	2組(A・B)	14:30	14:10～ 14:15
16	女 800m 決	2組(A・B)	15:00	14:40～14:45	16	女 400m 決	2組(A・B)	14:40	14:20～ 14:25
17	男 5000m 決	2 (タイムレース)	15:10	1組 14:50～14:55 2組 15:10～15:15	17	男 3000m S C 決	2 (タイムレース)	14:50	1組 14:30～ 14:35 2組 14:45～ 14:50
18	男 400m 決	2組(A・B)	15:50	15:30～15:35	18	女 4×100mR 決	2組(A・B)	15:25	15:05～ 15:10
19	男 800m 決	2組(A・B)	16:00	15:40～15:45	19	男 4×400mR 決	5 (タイムレース)	15:35	1～3組 15:15～ 15:20 4～5組 15:35～ 15:40
20	女 4×400mR 決	3 (タイムレース)	16:10	1～2組 15:50～15:55 3組 15:55～16:00					
21	男 4×100mR 決	2組(A・B)	16:25	16:05～16:10					

第 1 日 目 (フィールド種目)					第 2 日 目 (フィールド種目)				
順序	種 目	開始時間	予選通過記録	招 集 時 間	順序	種 目	開始時間	予選通過記録	招 集 時 間
1	女 ハンマー投 決	9:00		8:25～ 8:30	1	男 やり投 予(1組)	9:00	39m00	8:25～ 8:30
2	男 走幅跳 予(1・2組)	9:30	6 m00	8:55～ 9:00	2	女 走幅跳 決(1・2組)	9:30		8:55～ 9:00
3	男 円盤投 予(1組)	10:00	25m00	9:25～ 9:30	2	男 砲丸投 予(1・2組)	9:30	9 m50	8:55～ 9:00
4	男 走高跳 決	11:00		10:10～10:15	3	女 走高跳 決	10:00		9:10～ 9:15
5	男 円盤投 予(2組)	11:15	25m00	10:40～10:45	4	男 やり投 予(2組)	10:45	39m00	10:10～10:15
6	女 やり投 予(1組)	11:30	29m00	10:55～11:00	5	女 砲丸投 決	11:30		10:55～11:00
7	男 ハンマー投 決	12:30		11:55～12:00	6	男 三段跳 決(1・2組)	12:30		11:55～12:00
7	男 棒高跳 決	12:30		11:25～11:30	7	女 三段跳 決	13:00		12:25～12:30
7	女 棒高跳 決	12:30		11:25～11:30	8	男 砲丸投 決	13:30		12:55～13:00
8	女 やり投 予(2組)	13:00	29m00	12:25～12:30	9	男 やり投 決	14:30		13:55～14:00
9	女 円盤投 決	13:45		13:10～13:15					
10	男 走幅跳 決	14:00		13:25～13:30					
11	女 やり投 決	15:30		14:55～15:00					
12	男 円盤投 決	15:45		15:10～15:15					

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2019年度（公益財団法人）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により行う。
2. 今大会は、本競技場及び補助競技場を使用する。
3. 競技者の招集について
 - (1) 招集所は競技場第1ゲート側の外に設ける。
 - (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	20分前	15分前	走 高 跳	50分前	45分前
フィールド競技	35分前	30分前	棒 高 跳	65分前	60分前

- (3) 招集方法
 - ア 競技者は出場種目の招集開始時刻に招集所にてチェックを行う。事前に一次点呼として掲示板のリストに○印をつけること。
 - イ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
 - ウ 他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨を競技者係に申し出て出場を確認すること。
4. 競技場への入退場について
 - (1) 入退場は競技役員の指示に従い、規律ある行動をとること。競技者以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
 - (2) トラック競技出場者は、フィニッシュ後、第2ゲートを通り退場する。
 - (3) フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員またはマーシャルの指示に従うこと。
5. ナンバーカードについて
 - (1) ナンバーカードは、交付された大きさのまま使用し、必ずユニホームの胸・背に確実に付けること。ただし跳躍競技の競技者は胸・背のいずれかであり。
 - (2) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側につけること。
 - (3) 3000m以上の競技（競歩も含む）は、レーンナンバーカードを使用する。
6. 走路順・試技順について
 - (1) 予選における走路順・試技順は、プログラム記載通りとする。
 - (2) 同タイムでのプラス進出者確定について
 - ア 800m以下の距離のトラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは写真判定を拡大し、細部（電気時計1/1000）まで読み取り着差を判定する。
 - イ 判定が不可能な場合は救済レーン（第9レーン）を使用するが、対象選手が救済可能なレーン数を上回る場合は、本人か代理人によって抽選する。ただし、800mでは安全上問題のない範囲でスタートからブレイクラインまでのセパレートコースについては、一つのレーンに複数の選手を入れて競技を行う。
 - ウ リレーを除く1500m以上のトラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは着差判定は行わずに対象者全員を次のラウンドに進出させる。
7. 競技について
 - (1) 事故防止のため、短距離走ではフィニッシュライン到着後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
 - (2) リレー競走に出場するチームは、その種目の第1組目の招集完了時刻1時間前までに、オーダー用紙を競技者係に提出すること。提出時間に遅れたチームは当該種目を棄権したものとみなし処理する。
 - ア 申告したオーダー用紙の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。
 - イ 招集完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更（オーダー用紙の差し替え）は認められない。
 - ウ 医務員の判断による変更は出場者のみ認められ、編成（走る順番）の変更は認められない。
 - (3) A、B決勝がある種目について、ベスト16の場合は上位8名がA決勝、下位8名がB決勝とし、準決勝の場合は、各組の2着までがA決勝、3着と4着はB決勝とする。
 - (4) 男女の競歩競技においては制限時間を設ける。男子35分、女子40分以内に4600mを通過できなかった者は競技を中止させ、失格とする。
 - (5) 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。「On your marks」あるいは「Set」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したとき、審判長がイエローカードを示し警告を与える場合がある。同一種目において2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
 - (6) 競技場内での助力は一切禁止する。コーチングエリアから助言を与える場合は場内司令が該当種目の競技役員の指示に従い、競技運営や他の競技者の妨げにならないように注意すること。また、コーチングエリアでは、映像機器の画像を競技者に見せることは出来ないが、手渡すことは出来ない。
* 応援は節度を持ち、大会の進行や競技運営に支障が出ないように行う。歌や、集団による飛び跳ね等は禁止する。
8. バーの上げ方について
 - (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りである。

種 目	練 習	1	2	3	4	5	備 考
男子走高跳	決勝 1 m70	1 m75	1 m80	1 m85	1 m88	1 m91	以降3cm刻みとする
女子走高跳	決勝 1 m30	1 m35	1 m40	1 m45	1 m50	1 m53	以降3cm刻みとする
男子棒高跳	決勝 1 m90	2 m00	2 m10	2 m20	2 m30	2 m40	以降10cm刻みとする
女子棒高跳	決勝 1 m90	2 m00	2 m10	2 m20	2 m30	2 m40	以降10cm刻みとする

- (2) 走高跳・棒高跳で第1位及び全道大会出場権決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。
9. 予選通過記録

種目	男子走幅跳	男子砲丸投	男子円盤投	男子やり投	女子やり投	備 考
	6 m00	9 m50	25m00	39m00	29m00	天候その他の条件で変更することもある。

10. 競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使わなければならない。やりは検定を受けて通ったものを使用することができる。検定時間は、7:40~8:10までとする。ただし、棒高跳用ボールに限り個人所有のものを使用できる。
11. スパイクの長さは、9mmをこえてはならない。走高跳、やり投は12mmをこえてはならない。
12. 各種目3位までの入賞者は、競技終了後ただちに表彰する（代理でも良い）。4~8位の入賞者は、競技場正面入口で賞状を受け取る。
13. その他
 - (1) 全道大会出場権を得た競技者の監督は、この大会の最終日までに全道大会申込みを完了すること。
 - (2) 各種目の全道大会出場権は、下記の順位までである。また、8位入賞者で参加資格を得ていない者の中から、決勝において、別に掲げる標準記録を突破した者には、参加資格を与える。

種 目	100m	200m	400m	800m	1500m	3000m	5000m	100H/110H	400H	3000mSC	競 歩
男	16	16	16	16	16	—	16	16	16	16	4
女	16	16	16	16	16	16	—	16	16	—	7
種 目	400R	1600R	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマ投	やり投	
男	16	16	12	8	12	12	12	12	10	12	
女	16	16	12	8	12	8	12	12	5	12	

大会役員

名誉大会長	札幌陸上競技協会会長	志田幸雄
大会長	高体連札幌支部長	阿部 穰
副大会長	札幌陸上競技協会副会長	恩村一郎 中村宏之 田川芳紀
	高体連札幌支部副支部長	菅原和良
	高体連札幌支部専門部長	生田仁志
	札幌陸上競技協会専務理事	金子博之
顧問	札幌陸上競技協会顧問	岩本剛人 高見新造 藤井英嘉 澤田義盛 箕嶋和央

大会委員

札幌陸上競技協会理事

赤松幸広・安曇範子・井上晃男・井上智雄・遠藤典康・岡村美穂子・小川秀一
小山道雄・斎藤一幸・櫻澤智志・佐藤光司・佐藤圭祐・志田光瑞・島 敏昭
神 慶次郎・竹居田幸蔵・竹田安宏・田中勇心・中島正樹・新井田 守・早崎 勝
平野伸也・藤村勝江・古田 仁・南山雅礼・安岡行雄・山岸正直・若林文時

高体連札幌支部陸上競技専門委員

坂井秋人・小川秀一・鶴野和憲・遠藤典康・岩渕 諭・竹居田幸蔵・神 慶次郎
矢野慎吾・佐藤英則

競 技 役 員

総 務	坂井秋人				
総 務 員	遠藤典康(ト)	神 慶次郎(剛)	鷓野和憲(俊)	矢野慎吾(傑)	
技 術 総 務	吉田牧人				
ジ ュ リ ー	志田幸雄	中村宏之	田川芳紀		
ト ラ ッ ク 審 判 長	大町和敏				
ス タ ー ト 審 判 長	竹田安宏				
跳 躍 審 判 長	赤松幸広				
投 て き 審 判 長	平野伸也				
招 集 所 審 判 長	道浦陽子				
記 録 員	(注)薄 昇				
	川上重子				
情 報 処 理 係 員	(注)志田光瑞				
番 組 編 成 員	石井照之	鶴間伸一	石井健一	高木直子	
	吉川敦巳				
ア ナ ウ ン サ ー	(注)渋谷俊之				
	茂野淳一	斎藤美穂	西 奈央	安曇範子(18日)	
マ ー シ ャ ル ・ 練 習 会 場	(注)東 光幸				
競 技 者	(注)小川秀一	後藤 洋			
	笠井 強	久保 慎	児玉慎司	増富 功	
	山崎亜弥	佐藤奈緒美(17日)			
役 員 ・ 庶 務	(注)岡村美穂子				
	高橋末野				
表 彰	(注)土居昌彦				
	小野立貴	福本清悟	竹居田幸蔵		
公 式 計 測 員	吉田牧人(剛)				
用 器 具	(注)大井貴博				
	渡辺良太	佐藤信昭	高梨晃弘	山口全樹	藤井 保
風 力 計 測 員	(注)高橋央匡				
	住岡 浩	小林孝和	臼井友洋	中村貴裕	
周 回 記 録 員	(注)吉田 茂				
	梶山一樹	岡 智哉	竜田淳一	大森善幸	

写真判定員	(㊟)吉川伸彦	酒井 慶			
兼決勝審判員	長谷川 諭	西川 剛	豊川洋人	中島正樹	佐藤英則
監 察 員	(㊟)西巻秀仁				
	岩谷倫光	里見 武	小川祐美	西尾行信	濱田直樹
	牧野幸雄(18日)	山下堯哉			
ス タ ー タ ー (リコーラー)	(㊟)小森 勝	肥田政博			
	金子秀彰	砂金珠恵	日向敏明	稲場康典	白幡十夢良
	岩渕 諭				
出 発	(㊟)中村寛成	吉尾孝行			
	伊藤俊文	白田栄美子	長尾めぐみ	桑島 健	田邊 均
跳 躍 審 判 員	(㊟)高橋 巧	野間一也	日裏徹也	須藤敏明	
	安倍典子	梅津義信	桂 讓	藤村洋之	藤井貴浩
	尾崎真澄	菊池一樹	太田郁美	渡部 将	鎌田由紀子
	向中野 涼	前 雅隆	田川翔太	川島慶太	
投 て き 審 判 員	(㊟)堤 裕之	富樫 勝	伊藤新太郎		
	津田坦幸	合羽井秀明	青木岳則	森田隆一	朝妻正一
	坂元浩樹	藤根淳一	伊原克哉	佐藤裕二	田村真生
	櫻井尊雄	畑 昌吾			
科 学 計 測 員	(㊟)樋山良司				
	澤尻知徳	宮路真弥	金子京平		
競 歩 審 判 員	(㊟)稲場康典(兼)				
	竹田安宏(兼)	肥田政博(兼)	竹居田幸蔵(兼)	富樫 勝(兼)	吉田 茂(兼)
補 助 員	(㊟)竹居田幸蔵(兼)	矢野慎吾(兼)			
得 点 計 算	志田光瑞(兼)				
全 道 大 会 受 付	神 慶次郎(兼)	矢野慎吾(兼)			
医 務 員	鹿角彩奈	山崎麻美			